

# いまこそ集落創生

第19回 田茂沢地区

④道草ぶんこう。目を引くカラフルな壁画は、平成20年当時、東北芸術工科大学の学生だった近藤亜樹さんが地区の子どもたちと一緒に描いたもの。今では国内外で活躍するアーティストに成長 ⑤テレビ番組「田舎に泊まるう!」で金山町が放送された際的一幕。意外と知られていないが、最終カットは田茂沢地区焼山の風景が使われた。当時(左)と現在(右)とを比較



町中心部内町地区から北東へ約3km、南沢道路の最後の下り坂を降りると、どこか懐かしい茅ぶき屋根の原風景が広がります。この辺りは集落の玄関口でもある田茂沢地区焼山。築150〜300年にもなる風情ある家屋が3軒も並んでいるのは、町内でも珍しい光景ではないでしょうか。水田も昔ながらの形を残しており、棚田のように見える箇所では、田植えが終わる頃にホタルが飛び舞います。神室山と台山を源流とする清流上台川が流れ、多くの動植物を観察することができます。

現在、約25世帯100名前後が暮らす田茂沢地区。「若者や子どもたちが意外と多く、活気に満ちあふれている。」佐藤忠義区長は話します。そのシンボルになっているのが『道草ぶんこう』。建物に一步踏み入ると「長い人生、たまには道草して、今の自分を見つめ直してみては…」そんな声が聞こえてくるようです。ぶんこうを拠点に、山形大学のフィールドワーク授業を受け入れ、1泊2日の農家民泊研修を通して、地区の宝物を見つける活動を続けてきました。佐藤区長は「代々引き継がれてきたものを見直し、再生する時期に来ている。道草ぶんこうはその良い例だ。また、地区財産の整備も、住民が得意分野を活かして協力すればできるはず」と力を込めます。

今を生きる自分たちは未来へのつなぎ役——。砂防ダムの建設や地区を通る県道の拡幅、景観を意識した区画整理など長年の課題があります。それらは全て未来のため。みんなが幸福になれるよう、自然豊かな古き良き田茂沢を次世代に残していくことが住民の願いです。

## 編集 幸記

▼10月から消費税率が10%に引き上げられました。軽減措置やポイント還元など、家計を支える対策がなされていますが、これがなんともやこしい。まだ実感はありませんが、2%の差がじわじわ家計を圧迫しそうです。

▼大きな変化がもうひとつ。増税分を財源に始まった幼児教育の無償化です。こちらも対象者や対象費用などの要件は少し複雑。消費税に関してもそうですが、知っているかどうかで差がつかます。情報には敏感に！(つま)

## 金山町の人口は、5,439人 (8月末現在)

	男性	2,647人 (-5)	▼8月の異動
	女性	2,792人 (-8)	出生 1人
	世帯数	1,763世帯	死亡 10人
			転入 3人
			転出 7人